

リーディングDXスクール事業【実践事例】

佐世保市立皆瀬小学校（長崎県）

【取組内容①】 個別最適な学び、協働的な学びにおける一体的な充実

個別最適な学びと協働的な学び

- ・ジャムボードやノートなど思考を促すツールをいくつか用意する。ジャムボードは画面を操作するだけで図を作ることの気軽さ、操作性のよさがある。
- ・児童自身が学習形態を選択できる。学習の流れの定着、環境づくり（電子黒板での共有の仕方、交流の仕方、学級の支持的風土など）を普段から意識し、実践した。



【児童の変容】自分で学習方法や学習形態の選択肢を設定したことで児童が意欲的に学習に取り組み、協働的に学ぶことで他者の考えを知り、学習への理解が深まった。

☆自分にとって最適な学び方を自分で選択できるようにするためには、実践を積み重ねたり、自己理解を深めたりする必要がある。